



認証番号 0013752

株式会社 山匠



長年の経験と積み上げた技術力で暮らしを支える職人

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 5月～2024年 4月)



発行日：2024年8月2日

I. ごあいさつ

株式会社山匠は、昭和61年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環 境 経 営 方 針

当社は、企業理念である“責任と誇りを持った仕事で地域社会への貢献と会社の繁栄を目指す企業”に基づいて、土木工事、測量業、舗装工事、解体工事等の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、灯油)
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2022年5月2日

代表取締役社長 山口 義輝

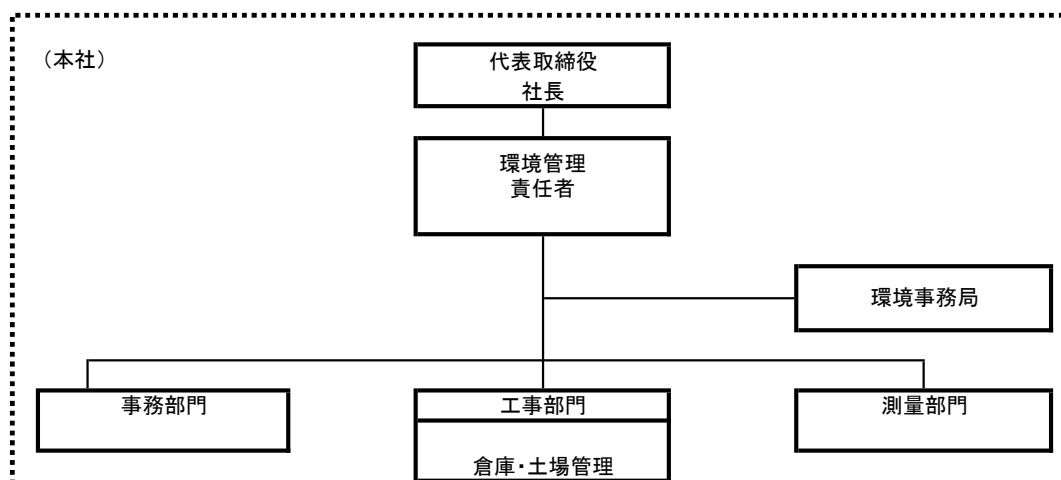
Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 山匠
代表取締役社長 山口 義輝
- (2) 所在地
本 社 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷8 2 7 番地の1
第一倉庫 〒679-5503 兵庫県佐用郡佐用町本郷4 6 9
第二倉庫 〒679-5502 兵庫県佐用郡佐用町才金5 4 4
土場 〒679-5646 兵庫県佐用郡佐用町大撫山5 9 8
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 山口 まゆみ TEL:0790-87-0034
担当者 稲澤 千明 FAX:0790-87-0738
E-Mail: info@yama-sk.co.jp
- (4) 事業内容
土木工事業、測量業、舗装工事業、解体工事業
許可番号 兵庫県 第551080号 許可年月日 令和4年7月30日
許可期限 令和9年7月29日
- (5) 事業の規模
設立 昭和61年5月1日
資本金 40百万円
①建設業 年間工事完成高 81百万円 (2023年度)
②測量業 年間売上高 25百万円 (2023年度)
- 各事業所の規模
- | | 本社 | 第一倉庫 | 第二倉庫 | 土場 | 合計 |
|-------|------|------|-------|-------|-------|
| 従業員 | 6名 | 無人 | 無人 | 無人 | 6名 |
| 延べ床面積 | 265㎡ | 320㎡ | 300㎡ | — | 885㎡ |
| 敷地面積 | 940㎡ | 320㎡ | 1940㎡ | 1640㎡ | 4840㎡ |
- (6) 事業年度 5月～翌年4月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社 山匠
対象事業所: 本社
対象外: なし
活動: 土木工事業、測量業、舗装工事業、解体工事業

□環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	94,471	61,228	67,756	
電力使用量	kWh	12,549	11,884	10,767	
ガソリン使用量	L	7,432	7,432	8,446	
軽油使用量	L	27,617	15,415	17,166	
灯油使用量	L	631	18	38.02	
廃棄物排出量	kg	-	-	-	
一般廃棄物	kg	不明	255	242	
産業廃棄物	kg	140,540	240,220	212,000	
水使用量	m ³	130	55	59	

注) 化学物質は使用しない。

※ 自社保有の車両台数が増えた為、ガソリン使用量のみ基準年度を2022年度に変更。

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	94,471	93,526 △ 1 %	92,581 △ 2 %	91,637 △ 3 %	90,692 △ 4 %
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	12,549 4,405	12,424 4,361 △ 1 %	12,298 4,317 △ 2 %	12,173 4,273 △ 3 %	12,047 4,229 △ 4 %
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	7,432 17,242	7,358 17,070 △ 1 %	7,283 16,897 △ 2 %	7,209 16,725 △ 3 %	7,135 16,553 △ 4 %
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	27,617 71,252	27,341 70,539 △ 1 %	27,065 69,827 △ 2 %	26,788 69,114 △ 3 %	26,512 68,402 △ 4 %
灯油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	631 1,572	625 1,556 △ 1 %	619 1,540 △ 2 %	612 1,525 △ 3 %	606 1,509 △ 4 %
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	実績不明	実績把握 —	計画実施 △ 1 %	計画実施 △ 2 %	計画実施 △ 3 %
産業廃棄物 適正管理	— kg	140,540	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	63	64 +1 %	65 +2 %	66 +3 %	67 +4 %
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	130	129 △ 1 %	127 △ 2 %	126 △ 3 %	125 △ 4 %
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	実績不明	実態調査	目標設定 取組開始	取組継続	取組継続

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2020年度実績値の調整後係数 0.351kg-CO₂/kWh を使用。

※ 自社保有の車両台数が増えた為、ガソリン使用量のみ基準年度を2022年度に変更。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2021年度 基準値	対象運用期間における実績 (2023年5月～2024年4月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	94,471	92,581	67,756	137%	○
電力 使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	12,549 4,405	12,298 4,317	10,767 3,779	114%	○
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	7,432 17,242	7,283 16,897	8,446 19,595	86%	×
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	27,617 71,252	27,065 69,827	17,166 44,287	158%	○
灯油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	631 1,572	619 1,540	38 95	1627%	○
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	255	252	242	104%	○
産業廃棄物 適正管理	— 排出量kg	140,540	適正管理 —	適正管理 212,000	—	○
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	63	65 +2%	88 +40%	136%	○
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	130.00	127 △2%	59.00 △55%	216%	○
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	実績不明	実態調査	13		○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 対象運用期間における建設リサイクル率の実績＝再資源化量（187,500kg）／産業廃棄物発生量（212,000kg）

注4) 灯油は冬期のみ

注5) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

注6) 自社保有の車両台数が増えた為、ガソリンのみ基準年度を2022年度に変更

注7) 一般廃棄物の基準値は2022年度の実績値を記載

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターの設置	◎	頻繁に使用する部屋に設置できた。今回は積極的に活用する。
・不要照明の消灯	◎	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。次回継続。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、もっとこまめに入・切の操作をする。次回も継続する。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・アイドリングストップ	○	概して停車中のエンジンストップが不十分だった。今後は徹底する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・効率的な移動 エコカー増入	○ ◎	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。今回は営業ルートを再検討する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・重機の空ふかしの禁止	○	もっと意識をエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	◎	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。今後も継続。
・空気圧、オイル等の点検	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・室温管理 (20℃を基準)	◎	室温が高くなれば、ストーブを消すなど灯油使用の削減に努める。
・部屋開放の禁止	◎	灯油の使用の場所は部屋の開放に気を付け、今後も左記取組を継続。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・実態調査	○	45L袋の平均重量×月間の個数で計測した。今後も継続する。
・分別の徹底	◎	ダンボールの分別を徹底できた。今後も分別を徹底する。 正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物の適正管理 (目標達成)		
・実態調査	○	正確な排出量を把握する工夫をする。
・保管場所の掲示板を設置	◎	設置済みである。 今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	◎	コンクリート等の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	△	仮設資材を修理することで再利用に努めた。 次年度も、リサイクル・再利用に努める。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウ	○	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も、左記取組を継続する。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを従業員全員が認識し、2021年よりエコアクション21に取り組んで参りました。まだまだ従業員への周知徹底が必要と考えます。節電、節水の省エネについては、目標達成しており継続的に省エネに努めて参ります。ガソリン使用量増加については、所有台数の増加、遠距離の現場等によりやむを得ないですが、基準年度を変更し、目標達成に向け更にエコドライブに努めて参りたいと思います。

全体的には、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、環境に配慮した取り組みを継続していきたいと考えております。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年 8月 2日

代表取締役 山口 義輝

IX. 環境への取組の紹介

節水対策



節電対策

